

木津川市立図書館協議会 会議経過要旨

会 議 名	令和6年度 第1回 木津川市立図書館協議会		
日 時	令和6年7月26日(金) 午後2時～午後4時	場 所	木津川市立中央図書館 2階 視聴覚室
出 席 者	委 員	■米田 崇会長 ■下浦悦子副会長 ■池田加津子委員 ■福森真知委員 ■中村景子委員 ■橋本京子委員 ■杉本秀子委員 ■河合正俊委員 ■田中啓之委員	
	事 務 局	平井教育部長、中島社会教育課長、久保図書館長、神田中央図書館係長、中川山城図書館担当係長、森井加茂図書館主査	
傍 聴 者	0名		
議 題	① 令和5年度年報について ② 当面の課題について ・長寿命化に係る中央図書館の改修(2年目)について ・奈良市北部図書館の利用状況 ・図書館LINE連携について ③ その他 ・次回の協議会について		
会議結果要旨	1 木津川市立図書館協議会委員任命書交付 竹本教育長(平井教育部長代理)から任命書の交付があった。 2 開会 開会宣言 委員9名全員の出席により、会議が成立していることを確認した。 3 教育長あいさつ 竹本教育長(平井教育部長代読)からあいさつがあった。 4 自己紹介(各委員、事務局) 5 新会長あいさつ 米田会長からあいさつがあった。 6 議題 米田会長が議長となり、議事を進行した。 ① 令和5年度図書館年報について 事務局より年報と資料1-1、1-2により説明した。		

	<p>説明内容について、一定の了解を得た。</p> <p>② 当面の課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化に係る中央図書館の改修（2年目）について ・奈良市北部図書館の利用状況 ・図書館LINE連携について <p>事務局より資料2-1、2-2により説明した。 説明内容について、一定の了解を得た。</p> <p>③ その他</p> <p>次回の協議会について</p> <p>事務局から11月29日（金）午前から管外視察の実施を提案した。 視察場所について、新築移転した井手町立図書館を提案した。 開催日及び視察場所の了解を得た。</p> <p>7 副会長あいさつ 下浦副会長から閉会のあいさつがあった。</p> <p>8 閉会</p>
<p>会議経過要旨</p> <p>◎：会長 ○：委員 ⇒：館長 →：事務局</p>	<p>1 開会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2 会長あいさつ 会議結果要旨のとおり。</p> <p>3 議題</p> <p>① 令和5年度図書館年報について 【資料】 令和5年度図書館年報 資料1-1、1-2 【説明】 事務局より令和5年度年報と資料1-1、1-2に基づき説明した。 【主な質疑・応答、意見】 ○：子ども読書スタンプのプレゼントは、中央図書館も何かあるんだろう とは思うのだが、加茂図書館は「プラ板プレゼント」、山城図書館は「ガ チャガチャ1回プレゼント」としており、予算があると思う。 これに限ったわけではないが、それぞれの取り組みに対しての予算は どのようにしているのか。 →：催しなどの講師謝礼については、毎年、同じ程度の予算としており、 それで支払っている。各館の事業については、特に「これだけの予算」</p>

というものは決めておらず、消耗品の予算の範囲内で材料を購入し作ったりしている。

ただ、限られた予算内で司書職員の工夫により作成している。

○：相互貸借というのは、どういう形で貸し借りしているのか。

→：府立図書館から週二回連絡巡回車が回ってきており、火曜日から金曜日まで府内をそれぞれいくつかのコースに分けて回っている。木津川市立図書館は京都府南部のコースになっており、それぞれの図書館から本を回収し、ほかの図書館の本が届く、という形になっている。そのため、京都府内の図書館のやり取りについては、郵送料などは発生していない。申し込みはインターネットでの申請となっている。

○：木津川市民は、精華町図書館では本の予約はできないのか。

→：精華町図書館では精華町民以外の予約はできない。何年か前に、精華町図書館がそのような取扱いにされたので、今後精華町民以外の予約の復活はしないのではないかと思う。

○：年報5ページによると、三館合計の一般書の蔵書数は昨年より1,500冊ほど増えているが、中央図書館だけ1,000冊ほど減っている。それはなぜか。

→：特にこれといった理由はない。新しい本は購入しているし、特に5年度は古くなった本は廃棄している。基本的に資料は微増していくと認識している。

○：本の廃棄はどのように行っているのか。

→：開架している本のうち、棚が手狭になってきたら、古くなったものを書庫に入れている。数年経過したのち他館にあるものなどは処分している。

○：処分とは廃棄か。

→：廃棄。児童書などは児童クラブなどで再利用してもらえるようにストックしておいて、児童クラブの人に見に来てもらって、持って帰ってもらうという形もとっている。

○：古くなった本はリサイクルしないのか。

→：難しい。中央図書館でも以前は一般書や児童書のリサイクルをしていたが、たまに「なぜこんなぼろぼろの本を市民に渡すのか。」とか、「こんなきれいな本をリサイクルに出すのは、税金の無駄遣いに見える。」など色々ご意見をおっしゃる方が多いので、廃棄している。基準が人

により異なるので難しい。リサイクルできるならリサイクルすることに越したことはない。加茂図書館、山城図書館では一般書のリサイクルもしているので今後検討する。

○：年報25ページ記載の、各種指標の「蔵書冊数」、「受入冊数」、「購入冊数」の定義を教えてください。

→：「蔵書冊数」は、図書館にある本の冊数。「受入冊数」は購入、寄贈などで受け入れた本の冊数。「購入冊数」は購入した本の冊数。

○：雑誌のうち、需要がないものもあるのか。

→：基本的には、貸し出しが少なくてもいろんなジャンルのものを三館で分担して購入している。ただ、人気がない雑誌もある。貸し出しが1、2回しか出ていない雑誌もある。そのような雑誌は次回の入れ替えの対象になってくる。雑誌の入れ替えをするときは、できるだけ三館で同じ雑誌を買わないようにしている。

○：図書館員が中心となって、各館のイベント等の企画をしているのか。

→：主任司書が中心となって企画している。

○：中央図書館で子どもをたくさん集めるようなイベント等が少ないのはなぜか。立地の問題か。

→：加茂図書館、山城図書館に比べると地味だが実施している。表向きには見えづらいと思う。固定のイベントで企画が止まっている。「朗読サークルこだまのお話会」、「ホリデーシアター」などを柱にしたイベントを実施しているので、新しいイベントも検討する。

今年は、現在「源氏物語」の展示を実施している。夏休みの工作教室もコロナ禍でできていなかったが、今年は実施する。

○：「夜空に咲く花火を描こう」はどこで周知するのか。また、参加希望が多かった場合は、抽選になるのか。

⇒：広報誌8月号、図書館のホームページ、京都新聞の山城版に掲載される予定。現在は、館内のチラシのみの周知なので、申し込み人数は2名。参加者は先着順で決まる。

○：書籍はどこで購入するのか。

→：毎年、木津川市内の書店に見積書を提出してもらっている。定価の何パーセントで購入できるかを提示してもらい、見積額が一番安かった書店から、「図書館流通センター」を経由し購入している。ブックーとバーコードを貼付けし、納品してもらっている。購入する本を選ぶの

は、各館の司書と主任司書。毎週金曜日に発注し、翌週の土曜日に納品される。

○：令和5年度の3館合計の貸し出し冊数が、令和4年度に比べて減っているがなぜか。

⇒：大きな要因としては、中央図書館が工事のため閉館していたため。

加茂図書館、山城図書館は貸し出し冊数は伸びているが、中央図書館で貸し出しできなかった分、減っている。資料1-1の推移に詳しく記載されている。その資料によると、奈良市立北部図書館の貸し出し冊数も増えている。全体では令和4年度と比較して5%程度の減となっている。

○：令和6年度も工事による休館があるため、減ることにはなると思うが、それ以降は、以前のような推移になっていくのか。

→：そのように考えている。

② 当面の課題について

【資料】 資料2-1、2-2

- ・長寿命化に係る中央図書館の改修（2年目）について
- ・奈良市北部図書館の利用状況
- ・図書館LINE連携について

【説明】

事務局より令和5年度年報と資料2-1、2-2に基づき説明した。

【主な質疑・応答、意見】

○：LINEからの問い合わせ等は、誰が対応しているのか。各図書館で職員が確認しなければならないのか。

→：システムが自動で返信している。利用者がLINE上で本を検索すると、自動で出てくる。実際に使用した印象では、「こういう感じの本」という調べ方をしたければ図書館のホームページ、「この本」と決めて探すならLINEで調べる方が便利。

例えば、今週の新着本を見たければ、同じスマートフォンで探すとしても、図書館のホームページからの方が見やすい。広報に載っていた

「A」という本が読みたいとなり、その本だけを検索するならLINEの方が早いと思う。

	<p>○：LINE から本の予約をした場合、本が用意できた際の連絡は司書がしているのか。</p> <p>→：司書が連絡している。</p> <p>○：LINE の追加機能は、現在はまだ使えないのか。</p> <p>→：使えない。LINE の追加機能では、図書館から予約の本の用意ができたときと送る機能があるようだが、利用者にメッセージを送るのが「1通いくら」という有償対応になっている。現在は、LINE を通じて予約をもらい、受け取り希望館で用意ができた場合、システムを通じて e-mail、または電話で連絡している。追加機能を使えば、LINE で図書館から連絡がくる形になる。今後、予算要求してからという流れになる。</p> <p>○：図書館のLINE 連携や、中央図書館の長寿命化工事でどこが変わったということを市民はあまり知らないのではないかと思う。「京都府民だより」に図書館についての良い記事が大きく掲載されていたので、木津川市の広報でも大々的に取り上げてもらったらよいと思うが、どうか。</p> <p>⇒：広報を作成の担当課からは一ページしか枠をもらっていないというのが実情。ご意見いただいたことは担当課に伝えさせていただく。</p> <p>○：広報誌は見ている人は見ているが、見ていない人は全く見ていない。広報誌以外の広報も必要だと思うが。</p> <p>⇒：現在はLINE の運用が始まった。LINE のお友達登録の件数が増えれば増えるほど図書館のことを発信できる。お友達登録者数が増えれば、その分見ていただいているということなので、図書館としても登録者数を増やしていきたいと考えている。</p> <p>○：LINE を通じての広報は若い人たちには効果があると思うが、年代が上の方にはそれだけでは足りないと思う。そのあたりについては、どのように考えているか。</p> <p>⇒：いろんな手法で発信していく必要はあると考えている。</p> <p>○：広報に図書館の情報を載せた折り込みチラシを入れられないのか。</p> <p>⇒：折り込みチラシは入れられるが、別途予算が必要になるため、難しい。</p> <p>○：業者に委託せずに、三館でチラシを印刷するなどして、お金をかけずに広報する方法はないのか。</p> <p>⇒：広報に入っている折り込みチラシは、広報を作成している学研企画課から、広報を作成している業者に費用をお支払いして折り込んでもら</p>
--	--

っている。予算をたてれば、折り込みチラシを入れることは可能。三館で印刷してチラシを作成して、それを折り込んでもらうだけ、それなら印刷の費用はかからない。毎年予算作成の時期に、学研企画課から次年度の広報誌への折り込みの予定はあるかと問い合わせがある。そこで折り込み希望を出しておけば、学研企画課がまとめて予算をとってくれるので、折り込みだけなら可能だと思う。

○：相互貸借の、どこの図書館に本があるのか調べたりするのも、システム化できているのか。

→：インターネット上でやりとりしている。

○：予約本とリクエスト本の違いについて教えてほしい。予約本は蔵書があり予約ができるもの、リクエスト本は蔵書にないから対外的に借りるか、購入するかというものか。

→：その通りです。

○：「リクエストは3冊まで」となっているが、5冊くらいまでにはできないのか。

→：今のところリクエストの上限冊数を増やすことは考えていない。リクエストが多い方は割と同じ本を何度もリクエストされるので、その本ばかり増えても仕方がないので、まずは3冊と決めている。常時5冊も10冊もほしい本がある方は稀であり、今のところは3冊までとしている。

○：令和6年度の中央図書館長寿命化工事について、空調設備はどのあたりまで更新するのか。

⇒：図書館の2/3くらいを更新する予定。残りの部分については、更新してから7年くらいなので、そのまま使用する。今回工事する箇所は30年くらい経つのでそこを更新する。

○：屋根裏のダクトなども取り替えるのか。

⇒：屋根裏のダクトについては、設計図をもっていないのでわからない。

○：工事内容の規模がわからないが、1～2カ月で工事は終わるように思うが、どうか。

→：入札を行った際には、工事期間は約半年と指導されている。業者が決まってから、業者が「2カ月でできる」ということであれば短くなるが、現在国際情勢云々などで、工事に必要な物がなかなか入ってこない、物が入ってきても納入期間がずれる、というようなことがあり、

	<p>工事期間は半年だと設計者は想定している。</p> <p>○：木津川市の公式LINE では図書館の記事を送ることはできるのか。</p> <p>⇒：できる。それぞれの部署がLINE で送りたい記事がある場合は、デジタル戦略室に申請をしている。申請してからLINE で送られるまでには3～4日くらいかかる。木津川市公式LINE の登録をしている方には、毎朝8時にLINE のメッセージが届くと思う。その中に図書館の記事を載せることはできる。</p> <p>③ その他</p> <p> 次回の協議会について</p> <p> 会議結果要旨のとおり。</p> <p>5 副会長あいさつ</p> <p> 会議結果要旨のとおり。</p> <p>6 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>その他特記事項</p>	<p>なし</p>